

「仲景杯」全国学生漢方選手権大会

《開催要綱》

主催：第75回日本東洋医学会学術総会
共催：日本漢方医学教育振興財団

＜大会事務局＞

第75回日本東洋医学会学術総会 運営事務局
〒105-8335 東京都港区芝 3-23-1
セレスティン芝三井ビルディング 12F
E-mail: 75jsom@jtbcom.co.jp / Tel: 03-5657-0777

＜第75回日本東洋医学会学術総会 HP＞

<https://convention.jtbcom.co.jp/75jsom/>



全国学生漢方選手権大会

「仲景杯」全国学生漢方選手権大会 開催要綱

会の名称 第3回 「仲景杯」全国学生漢方選手権大会

主催 第75回日本東洋医学会学術総会

共催 日本漢方医学教育振興財団

責任者 会頭 久光 正 (昭和医科大学 学長)

運営組織

「仲景杯」準備委員長 梁 哲成 (やんハーブクリニック 院長)

名誉顧問 並木 隆雄 先生

(国際医療福祉大学成田病院 予防医学センター 病院教授)

開催趣旨

2千年以上の歴史をもつ東洋医学は、つい百数十年前の幕末までは、こと内科医学について世界最高水準を誇っていました。世界の近代化の歴史の変遷によって遠ざけられたこの医学も、その有効性によって決して埋もれることなく脈々と生き続け、医療用漢方エキス製剤の保険適応を経て、現代では日本の医科系大学の講座に取り上げられ、この日本では臨床医の多くが当たり前処方する時代になりました。とは言え、東洋医学の講義はわずかであり、医学生は本格的な教育を受けているわけではありません。そんな中でも、東洋医学に興味を持って活動する医学生が全国に多数おり、一部の地域では交流が盛んにはかかれていますし、SNS上においては全国的な交流も起こり始めているようです。そこで、この度、各地から医学生有志を一堂に参集し、東洋医学を楽しみ、学び、交流することは、医学生にとって、東洋医学教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えました。21世紀に入り、現代医学は現代数学と現代自然科学を応用することで急速な発展を遂げている一方、EBMからもれる患者らはむしろ臨床の場から遠ざけられている傾向にあります。東洋医学にも東洋医学なりの科学的根拠があり、それによって患者の病態を論理的に分析し対策をたてる独自の方法論があります。これを身につけることで、臨床から遠ざけられた患者の多くを救うことにもつながります。東洋医学は、整然とした美しい構造と体系をもった学問です。次代を担う医学生たちの豊かな創造性や軽やかな感受性を刺激することは間違いありません。彼らはこの東京の地でその東洋医学の魅力を我々の前にみごとに開いてくれることでしょう。以上のように「仲景杯」は東洋医学を通じ学生間の交流と若者の知的活動の活性化に必ず寄与するものと確信を持っています。

梁 哲成

開催日程・場所 2025年6月7日(土) 16:00~19:00 京王プラザホテル

大会概要

《大会について》

1. 大会は、対面のみで行われる。
2. 大会は、応募チームで開催される。（※応募方法は応募要項を参照）
3. 参加チームは、12 チーム前後を目安とする。多数の応募があった場合は、応募を締め切ることがある。
4. 大会は、大会実行委員会の出題担当者が提示した“症例演習問題”の解答を各参加チームがプレゼンテーションし、その後、他のチームとの討論を行い、それらを審査委員が総合評価して、優勝、準優勝、審査委員特別賞、出題者特別賞を争う形式で行われる。
5. **6月4日(水)の17:00**に、全参加チームへ斉に症例演習問題をメール添付で送付する。
6. 出題する症例はあらかじめ患者本人の承諾を得た上で、プライバシーの保護と本大会の出題に適することを目的に、経過・症状・所見の一部を改変している。
7. 各参加チームは、**6月7日(土)の12:00まで**に、症例検討の発表に使用するPPスライド原稿と、PDFに変換したスライド原稿を指定する場所に提出する。このスライド原稿の記載は、この後一切の変更は受け付けない。
8. 大会当日の6月7日(土)の14:00までに全チームのPDF版PPスライドのコピーを全チームに指定する場所で配布して公開する。各チームは討論の内容の参考にすることができる。
9. 各チームはそれを討論の内容の参考にすることができる。
10. 大会当日の発表の順番はあらかじめグループラインによる抽選会で決める。
11. 16:00から開会の儀を行う。16:10から各チームのプレゼンテーションと質疑応答を開始する。
12. プレゼンテーションは5~6分(未定)、質疑応答は質疑1分以内、応答1分以内で行う。1チームの発表、質疑応答は10分以内とする。
13. プレゼンテーションは、PPスライドを用いながら、方証相対や弁証論治など：主に症状・所見の分析と東洋医学的診断の過程、方剤選択の根拠、最終的に処方する方剤、方剤の内服回数と方法、生活指導などの解説で行うが、適宜、現代医学的な病態分析とその(疑いもしくは確定)診断や、必要な現代医学的な検査と対策も現代医学的根拠をあげて追加解説してよい。
14. 最終的に処方する方剤は、日本の医療用漢方エキス製剤に限られる。処方数はできるだけ単剤とし、もし併用するときも2剤までで十分に根拠を挙げること。
15. 質疑は各チーム2回行うことができる。質疑応答の形式は未定。
16. 発表と質疑応答が終了後、その日のうちに審査委員による審査が行われ、優勝、準

優勝、三位賞、漢方部門優秀賞、中医学部門優秀賞、審査委員特別賞、出題者特別賞が発表され表彰が行われる。

《評価基準》

1. 審査委員は5名で構成される。
2. 各審査員は、各チームのプレゼンテーションと討論の内容について、（漢方もしくは中医学などのいずれかの立場で）一貫性がある、論理的に必要なかつ十分な分析と考察が行われていたかどうかを評価する。（また、診療上で必要な現代医学的な対応があれば、それについても評価の対象になることもある。）
3. 各審査員は、各チームのプレゼンテーションが分かりやすいかを、（PPスライド、手順、語り口などで）評価する。
4. 各審査委員は、各チームの質問が的を射たかどうかを評価する。
5. 各審査委員は各チームの応答が的確かどうかを評価する。
6. これらの評価点の総点で優勝と準優勝が決定される。同点の場合は、審査委員及び出題者の検討の上、全員一致で決定する。決定できなかった場合は、出題者に一任される。
7. 審査の際に、漢方、中医学各部門で優れた発表をしていたチームに対して審査委員の中から推薦があり、全員一致で認められたチームにはついでに、各部門賞が与えられる。
8. 審査の際に、特に个性的で優れた発表や質疑応答をしていたチームに対して審査委員の中から推薦があり、全員一致で認められたチームにはついでに、審査委員特別賞が与えられる。
9. 処方方剤が出題者の想定した方剤と一致しているチームには、出題者特別賞が与えられる。
10. プレゼンテーションと質疑応答は時間厳守が求められる。時間がオーバーした場合は進行中に警告される。繰り返し警告された場合は減点の対象となる。

《大会精神》

『仲景杯』は東洋医学のフィールドで、医学生の論理性と表現力を競う場であり、決して意見の異なる個人や団体を誹謗中傷する場ではないので、厳しくフェア精神が求められる。これに反したと審査委員が判断した場合は、直ちに発表や討論が中止され、大きな減点対象または退場が求められることがある。

大会スケジュール

2024年6月4日（水）

17:00

症例演習問題送付

※出場者全員のメールアドレスに、一斉送信いたします。
代表者の方は、受信した旨を運営事務局へ返信してください。

2024年6月7日（土）

-12:00

WindowsによるPP発表スライドと、それをPDFに変換した原稿を指定した場所に提出してください。（以後はスライドの一切の変更は受け付けません。）その後、14:00までに全チームに対し、全チームのPDF発表スライドのコピーを配布しますので、当日の質疑応答の準備に利用してください。

16:00

開会式

16:10-

発表・討論

18:10-

審査

18:40-

参加チームは18:20までに会場にお戻りください。
表彰式

19:15-

懇親会